



# 株式会社クライス&カンパニー

業種 人材紹介業

従業員数 43人（単体/2025年）

URL <https://www.kandc.com/>

本社所在地 東京都港区

## 取組の特徴

自己・他者理解からビジョン共有・策定等に向けて、森の中で2泊3日を過ごす「森の研修」を導入



チームビルディング 組織変革 エンゲージメント



リーダーシップ 心身の健康 SDGs

実施地域 山梨県山中湖村 ほか

受入組織 [株式会社森へ](#)

### 実施概要

日常から離れた森の中で、心と身体を開いた上で「森との対話・自分との対話」、焚き火等を囲んだ「人との対話」を相互に行い、気づきの内容を深化させて、本質的な気づき・洞察を促す「森の研修」を実施し、自己・他者理解と関係性構築、ビジョン共有・策定等を実施。自社グループ内の経営会議で導入しつつ、顧客・経営者にも紹介している。

## 導入の経緯と決め手

- 人材紹介会社は人を知ることが基本となる中で、社長が「森のリトリート」に参加し、森の中で自分を深く見つめ、お互いを理解し合い、会社のことを深く考える中で、本質的な気づきが得られ、気になることが言語化できたことから、「企業研修」として導入。
- プロコーチであり、「森のリトリート」の経験豊富なナビゲーターがいることで、森との結節点となりながら、問いかけ・働きかけや、引き出して貰えるため、(株)森へに依頼。



## プログラムの構築とねらい・工夫

- 慌ただしい日常から離れ、森の中で心と身体を開いて「森との対話、自分との対話」を通した深い内省と、焚き火等を囲んだ「人との対話」を交互に行い、回数を重ねるごとに気づきの内容を深化させて、本質的な気づき、洞察を得る合宿型プログラム。
- 初日は左脳が働くモードであるため、森の中でリラックスした上で、スローダウンする歩き方や呼吸の仕方、モノの見方等をゆっくり伝えて右脳の感性・感覚に切り替える。
- 初日の夜の焚き火で「問い」を提示し、2日目に自分自身や事業の原点、企業の経営課題等について深く内省・対話を経て、3日目に気づき・学びを共有する。



## プログラムの効果、担当者・参加者の声

**【効果】**社員は他の研修を受けるより、視点や考え方の転換ができており、経営層も自然に対峙する中で長期的視点や全体性を鑑みた経営観を体得したり、受容性が高まっている。

**【担当者の声】**「年齢がバラバラな中途採用者が同期意識が育み、助け合えるようになっていく」「期せずして本音が出て、社員同士で盛り上がり、新たな決意ができていく」

**【参加者の声】**「焚き火を囲んで話すことで、お互いの話を聞き合え、誰も話さなくても場が持ち、その間に反芻して思考を深めて、一歩踏み込んだ対話ができる」「仕事や人生への想いを対話する中で、本音がポロっと出るため、お互いが理解し合い、信頼関係が高まった」

## 「森のプログラム」導入事例

- ①森の研修（中途採用者向け／2泊3日）
- ②森の経営会議（グループ企業の社長／2泊3日等）



## プログラム事例

### ◆森の研修（中途採用者向け/2泊3日）

日程	プログラム	ねらい・内容
【ねらい】森でリラックスして森に馴染む（昼～夕方まで森で過ごす）		
1日目	オリエンテーション	目的、森の力・心得、3日間の流れの説明
	森の中へ（森との対話・自分との対話）	森に馴染む、森からの洞察を得る。
	焚き火（人との対話）	自分自身や事業の原点、企業の経営課題等の問いを提示 感情・体験・洞察の言語化・共有・対話
【ねらい】森で深まる（朝～夕方まで森で過ごす）		
2日目	森の中へ（森との対話・自分との対話）	森からの洞察、内省
	ランチ（人との対話）	感情・体験・洞察の言語化・共有・対話
	森の中へ（森との対話・自分との対話）	ビジネスの洞察を深め、問いを持って内省
	焚き火（人との対話）	問いについての探求・共有・対話
【ねらい】日常への統合（朝～昼まで森で過ごす）		
3日目	森の中へ（森との約束）	日常への統合、リトリート後に向けた約束
	人との対話	約束の共有
	コンプリーション	完了の儀式